

活動名		どんぐり松ぼっくり工作			
概要	○どんぐりや松ぼっくりなどの自然物を使って、思い思いに作品をつくる。				
ねらい	○自由な発想で、思い思いに作品づくりを行うことによって想像力を養う。 ○道具の特徴や使い方を理解し、正しく安全に取り扱う。 ○よく観察することで、自然物に興味関心を抱くきっかけをつくる。				
関連教科等	生活・図画工作・理科・総合				
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う				
時期	通年	時間帯	日中	対象	幼(大)～
場所	創作棟	人数	～80人	所要時間	1～2時間
準備物	施設で準備できるもの		団体・個人で準備するもの		
	材料となる自然物、ホットボンド、ニッパー、木工用ボンド、のこぎり、はさみ、ポスカ		野外で自然物を採取して使用することも可能		
進め方・展開例					
内容			留意点		
活動前	○打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方			○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。	
活動の説明	○例となる作品を見てイメージをつくる。 ○道具の使用方法を理解する。 ○作り方の流れを説明する。			○例となる作品と同じものを作るのではなく、自分の自由な発想で作るように伝える。 ○刃物やホットボンドの使用の注意事項を伝える。 ○創作説明用のシートを使用する。	
展開	○必要であれば、自然物を野外に取りに行く。 ○作品をつくる。 ・どんぐりや松ぼっくりのミニ人形 ・どんぐりゴマ ・どんぐりのやじるべえ ・松ぼっくりのモビール ・木で作るカブトムシとクワガタムシ 等			○危険な動植物への注意を促す。 (ハゼ、ウルシ、マムシ、スズメバチ等) ○刃物の取り扱いには十分注意させる。	
まとめ	○片づけをする。 ○お互いの作品で遊んだり、作品の発表をしたりして、お互いの作品のよさを認め合う。				
評価	○想像力をはたらかせて、思い思いの作品をつくることができたか。 ○道具の特徴を理解し、正しい使い方を習得することができたか。 ○身近な木の実や落ち葉等の自然物に、おもしろさや不思議さを感じる事ができたか。				
発展	○野外活動や自然観察の延長として、創作活動を取り入れてもよい。				